

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年

2019～2020年度クラブ目標

『共に手をつなごう
ロータリーのもとで』

会長 中目 公英
幹事 兼子 英聡



ロータリーは
世界をつなぐ

2019～2020年度国際ロータリーテーマ

第1607回例会

令和元年11月14日 (18:30～19:30)

○ソング

- 四つのテスト

○スマイルBOX

- 中目公英会長 (防衛省自衛隊福島地方協力本部白河地域事務所の鈴木祐介所長さん、常日頃知り得ることがむずかしい自衛隊のことを、わかりやすくかみくだいてお話しいただき、ありがとうございました。)
- 宮本多可夫会員 (防衛省・鈴木祐介様、卓話ありがとうございました。)
- 関谷亮一会員 (連続欠席致しました。自衛隊福島地方協力本部鈴木祐介様卓話ありがとうございました。)
- 永野文雄会員 (自衛隊福島地方協力本部の鈴木祐介所長様ようこそ。卓話ありがとうございました。「大嘗祭」おめでとうございます。)
- 熊澤直紀会員 (鈴木所長様、お忙しいところ卓話ありがとうございました。)
- 石部辰雄会員 (鈴木所長様の卓話ありがとうございました。職業奉仕とバッティングして中座致します。)
- 山田顕一郎会員 (防衛省福島地方協力本部所長鈴木様卓話ありがとうございました。災害が多い最近、本当に感謝しております。自衛隊に良い意味で関心が高まるような世の中になることを願っています。)
- 堀田一彦会員 (とりあえずスマイルします。)

▶第1607回例会出席状況 (R元年11月14日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	44名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	58名
Ⓒ ①の出席者数	25名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	8名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	33名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	52
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	63.46%



▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

中目公英会長

皆さん、こんばんは。今日も、例会にご出席ご参加いただきましてありがとうございます。まず初めに、本日の卓話をさせていただきお客様をご紹介させていただきます。防衛省自衛隊福島地方協力本部白河地域事務所の所長さんでございます鈴木祐介さんです。今日はひとつ、常日頃知ることができない防衛省のお話等々、あるいは災害復旧等々のいろいろなお話が聞けるのを楽しみにしております。よろしく願いをいたします。さて、今日は11月14日でございます。皆様方のお手元にまた、この前お渡ししたのと同じ資料のほうをお渡しさせていただきました。今日はこの話をしないわけにはいきませんので、ほんのちょっとだけお話をさせていただきます。上皇陛下から今の陛下に御代替わりになりまして、その御代替わりに伴ういろいろな式典が行われます。それが御大礼です。5月1日に剣璽等承継の儀というのを致しまして、この間の10月22日の日に即位礼正殿の儀というのがございました。今晚、まさに今頃です。6時過ぎくらいからこの大嘗祭が行われています。大嘗祭というのは、今晚から明日の未明大体午前3時くらいまでかけて行われるおまつりであります。そこにありますように新しい天皇陛下が即位後初めて新穀をお供えする新嘗祭で自分の一代に一回しかしないという特別な大変重要なおまつりだというふうなことであります。今日のおまつりを迎えるにあたりまして、まず5月の頃に下のほうにあります斎田点定の儀というのが行われます。これはウミガメの甲羅の上で火を燃やして、どのような匂いが入るかによって、どこの地方のお米をこの大嘗祭に使うかというものを決めるものです。現在、ウミガメは天然記念物で捕れないものですから、小笠原諸島で自然死をするウミガメを一代変わる間のあいだにずっとストックをしまして、それで今回の御代替わりの5月の点定の時にお使いになったんだそうです。悠紀殿は今回は点定によりまして東日本地方ですが、今回は栃木県の高根沢町で決まりました。それから、西日本の主基殿のほうは、京都府の南丹市で決まったということになります。それを受けまして、稲を植えて無事成長するようにと、その折々のおまつりをしまして、9月の時に斎田の稲穂の上のほうだけ抜く抜穂の儀というのを執り行いまして、今日のおまつりのために準備を整えてまいりました。このおまつりの内容はそこにあるとおり、今年採れた新しいお米を神様にお供えをすると同時に、神様というのは天照大御神様のことをいって、神様にお供えをすると同時に天皇陛下が自分でもそれをお食べになるという儀式なんです。じゃそれはどういう意味があるんだというふうなことはNHK等々の解説ではあまり喋りませんから、こちらの意味内容のほうを少し

お話をさせていただきたいと思っています。今日お帰りになったら、おそらくNHK等々いろんな報道機関のニュース番組で詳しく解説をされるでしょうから、事細かい点につきましてはそちらのほうを聞いてもらえればと思います。この間の10月22日の即位礼正殿の儀、あれが行われるのが天壤無窮の神勅によるのだというお話をしました。天照大御神様のお孫さんの瓊瓊杵尊（ににぎのみこと）、それから5代後の神武天皇が豊原中国に来まして、その天照大御神の直系の子孫がこの国を治めるとこの国はいつまでも繁栄をしますよ。そのように神として約束しますよという天壤無窮の神勅によって、わたくしは今般新しい天皇としてこの国を治めますというふうなことを内外に向かって正式な形で宣明をするというのが、この間の即位礼正殿の儀です。今回の大嘗祭は次の神勅に基本的に意味内容上基づいています。天照大御神が瓊瓊杵尊をこの国につかわす時に3つのお約束をなされたというわけです。その一つが天壤無窮でしたが、もう一つが宝鏡奉斎の儀。宝鏡奉斎の神勅と通常言います。これは今、本物は伊勢神宮にあります。八咫鏡、三種の神器のうちの鏡のことです。その鏡を必ず天皇陛下は、まるでいつもその鏡を通して天照大御神を見つめるが如く必ず自分が生活するところにはこの鏡をお祀りをしなさいというふうな約束事の神勅を下しているというわけです。本物は伊勢神宮にありますが、そのレプリカが皇居の中の宮中三殿の中の賢所にお祀りをされている。今日、大嘗宮の悠紀殿主基殿の儀式の時にその天皇陛下がおまつりをする所には、その鏡が据えられて天皇陛下は天照大御神と向かい合ってお二人だけでお供え物をし、それを一緒に食べるというふうなことをするというわけです。その宝鏡奉斎の神勅を守るがために今日、悠紀殿主基殿の儀というのをします。それはどういうことかということ、鏡というのはこれも語呂合わせみたいなのかもしれませんが、言霊信仰がある日本ですから鏡からワレという自分の我を抜くと神になるんですね。天皇陛下はこの国で今一番上に立つ方なのかもしれませんが、天皇陛下ですらガを抜いて神に仕えなさいという意味合いで、必ず天皇陛下がお仕えするものがあるんだというふうなことを再認識をするという意味合いがあります。あともう一つは、関谷さんをはじめ私たちの国は瑞穂の国ですから、お米作りが中心になっています。斎庭（ゆにわ）の稲穂の神勅というのがあります。この日本に降りてきた神武天皇をはじめとする方々、この国民、青人草といいますが青人草の人たちが生活していくのに苦労しないように、必ず食っていくために大切なお米というものを必ず作りなさいというふうな神勅を神様の命令を下しているわけです。今回、新しい天皇陛下がその天照大御神から言われた斎庭の稲穂の神勅というのをちゃんと守っていきますということのために、今年採れたお米をわざわざ悠紀殿と主基殿という所を作りまして、そこで天皇陛下自らが天照大御神様にお供

え物を捧げて、そして一緒に食することによって天照大御神の力を自分の体に宿すという意味合いになっているというわけです。実際、どのような所作を天皇陛下がするかにつきましては、これは秘儀といわれております。一説では、一緒に食べた後、天照大御神と同じ一つの布団で仮眠をするんだというふうな話が戦中戦前はありました。特に折口信夫とかという人はそういうふうなことを真床追衾という説を言ったりしますが、今、宮内庁はそういうふうな説を公式には喋ってはいません。天照大御神に今年採れたお供え物をすることによって、そしてそれを天皇陛下が食べることで神様の力、天照大御神の力を自分に身に宿すというふうなことであります。これをすることによって、天皇陛下が天皇陛下たる力を全く十全として身に付けるという、しないといけない特殊な神事だというわけでありまして、ただ、これはあまりにも宗教色が強いので、これはいわゆる国の行事にはなってはいるのですけれども、内廷費のほうから支出をすることになっている。ただ、皆さん方も普通身内の方がお亡くなりになってお葬式に参加する時に、その人のお葬式の宗派はなんだかんだ文句言ってその葬式に参加しないということはありませんから、天皇家が受け継いでいるそのしきたりに安倍総理大臣をはじめ、国権の三権の長という方々は明日の午前3時まで寒い中、参列をするというふうな形になっています。お呼ばれをしているのは700人くらいですけれども、実際3時までぐっと我慢してブルブル震えながら参列するのは、平成の天皇様の場合大体500人を切っていたというふうな話が伝わっていますが、この前の祝賀会のパレードとか即位礼正殿の儀のように1から10まで中継されることはありませんので、折々のニュースで聞いてその意味内容につきまして確認してもらえればと思います。ちょっと話が長くなってしまいましたが、立场上今日の大嘗祭の当日ですからお話をさせていただきます。今日はひとつ例会よろしくお願いたします。

■幹事報告

兼子聡幹事

- ガバナー事務所：訃報のお知らせ
- 国際ロータリー第2530地区：クラブ会長エレクト・次期クラブ幹事報告のお願い
- 宗教法人大統寺：新そばと落語の会

■本日のプログラム

○プログラム委員会

熊澤直紀委員



お疲れ様です。プログラム委員会の熊澤でございます。今日は、中目会長からご紹介がありました自衛隊白河地方事務所の鈴木所長でございます。私がお縁があって所長と一日会でお会いする機会

がありまして卓話をお願いをした次第でございます。では早速、鈴木所長様、よろしくお願いたします。

○ゲスト卓話

防衛省自衛隊福島地方協力本部

白河事務所長

鈴木祐介様



皆さん、おばんでございます。只今ご紹介いただきました、自衛隊福島地方協力本部白河事務所長の鈴木でございます。本日、卓話のお話をいただきましたので、僭越ではございますがお話のほう少しさせていただきたいと思っております。まず初めに、平素より防衛省自衛隊に対するご理解を賜りまして誠にありがとうございます。また先般、台風19号等で被災されました皆様に対しまして、改めてお見舞い申し上げます。まず、先程ちょっと熊澤様からもお話あったんですけども、白河に自衛隊がいたんだという話もありましたので、少し我々の立ち位置などをご説明させていただきます。わたくし所属しております福島地方協力本部につきましては、大きく二つの任務を持っております。一つは私がやっております自衛官の募集・採用、これが一つ。もう一つは、退職自衛官の就職援護。平たく言いますと、就職斡旋でございますね。53歳から55歳で定年する自衛官がほとんどでございますからその後の再就職、これを支援している。この大きく二つの任務を持っております。というところで、防衛警備上の任務はそれほど持っていないところでございまして、先般ございました台風19号におきましては災害派遣の任務は我々持っておりませんので、あくまでも情報収集という形で勤務をしていたという状況でございます。では初めに、お手持ちの資料、ちょっとそこには入っていないんですけども、現在の台風19号及び記録的豪雨にかかる災害派遣の状況についてご説明いたします。先月12日土曜日、23時15分に福島県知事から災害派遣要請をいただきました。主な自衛隊の行動ですが、要請内容が人命救助で当初いただいておりますので、ボートによる救助、土砂災害による行方不明者捜索、また石川町による孤立者救助、これが最初の任務でございました。全国で1日当たり最大3万名規模で災害対応しておりました。また、11月以降一日平均で約1000名の入浴を支援いたしまして、現在も続いております長野県長野市における給食支援、食事提供ですね。こちらは一日平均約900名分を支援しております。本日、福島民友さんの記事にもあったんですけども、いわきで入浴支援をやっておりました第9後方支援連隊、八戸にあるんですけども本日任務を終了し撤収いたしました。今後の災害派遣の推移でございますけれども、福島県内は既に災害復旧期に入っておりまして、災害派遣撤収を見積もる予定でございましたが、いわき市内の被災廃棄物

処理が思うように進んでいない状況が新たに判明いたしました。今後別の部隊が災害派遣で派遣する予定と今聞いております。こちらが台風19号及び記録的豪雨にかかる災害派遣の状況でございます。では続いて、お手持ちの資料、中期防衛力整備計画。今後の我が国の防衛について少しお話しさせていただきます。最初のページの下にございます正式名称でございますが、中期防衛力整備計画（平成31年度から平成35年度について）これが閣議決定された正式な言葉でございます。閣議決定日が下にあるとおり平成30年12月18日でございますので、天皇陛下の御代替わり予定は既に判明していたものの、新元号が発表されていなかった時期でございますので、平成35年度というですね、ちょっと実体のない数字ではございますけれども、今の時代に合わせますと令和5年度までの防衛力の整備計画でございます。この防衛力整備計画というのは、国内外情勢に合わせておおむね5年ごとですね、更新していくものでございます。計画の方針につきましては、前回の平成26年度以降の防衛計画の大綱。そこを基本とし赤字にありますとおり、宇宙、サイバー、電磁波という、陸海空のみならず新たな領域での戦い方、こちらのほうを念頭に置いた計画となっております。また、下の赤字部分でございます。陸海空自衛隊の統合を一層推進し、縦割りに陥ることなく組織及び装備を最適化する。次のページをご覧ください。5年後の基幹部隊の見直しということで一部紹介いたします。先程申しあげたとおり、宇宙、サイバー、電磁波、こちらの領域に新たな戦い方を展開していくという構想でございますけれども、航空自衛隊に宇宙領域専門部隊。こちらを一つの部隊を新編いたします。ここからお話しする内容は、5年後までにこういうふうにやっていきますということでございます。また、サイバー防衛隊。こちらは特にネットワークが発達したこの世の中で、ハッキング対応であったりとか、ウイルス監視、こういったものを主任務とする舞台でございます。また、下にあります陸上自衛隊に電磁波作戦部隊というのは、実は電磁パルスというものがございまして、精密機械機器などはこの電磁パルスの影響を受けますと、人体にも当然影響はあるんですけども、パソコンが内部破壊されてしまうという非常に今のデジタルの戦いで極めて重大な影響を及ぼす要素でございます。こういった電磁パルスに負けない、あるいは守っていく部隊を作っていく、これが大きな予定としてあがっております。また、下にございます弾道ミサイル防衛部隊、2個部隊。私ここまでしか書けなかったんですけども、これは何かといいますと、山口県と秋田県に設置予定のイージスアショアでございます。こちらの弾道ミサイル防衛部隊も、この先5年以内で設置予定でございますが、少し秋田県のほうでは地域住民の方々から、少しくまぐご理解を得られていないところがございますので、

引き続き丁寧な説明をしていく予定でございます。また、下にございます陸上自衛隊の部隊の見直しでございますが、ちょっと北海道に集中しているところもあるんですけども、旭川にあります第二師団、および帯広第五旅団。また、群馬県にございます第十二旅団。こちらを新たな機動的な部隊に改編していく予定でございます。また、下にございます大規模上陸侵攻への備えということで、北海道、九州以外の戦車を廃止。また、北海道以外の火砲部隊。これは大砲ですね。そういった部隊の集約していく予定でございます。ここに北海道とよく書いておりますけれども、防衛力整備計画の中ではやはりロシアによる侵攻はまだ否定できないという状況でございます。よって、北海道には、戦車、大砲、こういったものは引き続き配備を続けて北からの侵攻に備えるという考え方でございます。次のページをお願いいたします。続いて、海上自衛隊でございます。写真にあるとおり、ヘリコプター搭載護衛艦。この写真では「いずも」ですね。二万トンの排水量を持ちます。また、隣にありますイージス艦、こちらが排水量約七千トンでございます。こういった新たな装備のほかに、下にちょっとイメージ図ではございますけれども、イージス艦よりも少し小さい多機能護衛艦、こういったものも新造する予定でございます。この多機能護衛艦につきましては、今後、先程申しあげました陸海空統合して戦い方を考えていく中で、例えばこの船の後ろに陸上自衛隊を乗せて島に連れて行ったりとか、こういったいろいろな目的を持つ船をこれから新造する予定でございます。あとページの下にございます航空自衛隊でございますが、下の写真にあります無人機部隊、グローバルホークですね。そして、近代化改修に適さないF15の代替えのため、これはF15かなりお年を召した戦闘機でございます。毎年毎年近代化改修を続けてきたのですが、そろそろ機齢、戦闘機の寿命ですね。これがかなり近づいてきているということで、新たな戦闘機F35Aを導入する予定でございます。次のページをお願いいたします。上のほうは令和2年度予算の概算要求でございます。これは先程申しあげました5年単位のうちの、もっと直近の来年の予算の概要でございます。ここに5兆3千2百23億円とありますが、お手元に新聞少し少ないですけども開いていただいて4面または5面をご覧ください。実はいま配布した新聞、発行時期はちょっと古いんですけども、この新聞しか載っていない情報がありましたので今回お持ちいたしました。この新聞、お持ち帰りいただいて結構です。この5兆3千2百23億円の細かい見積もりがこの2ページに書いてあります。非常に細かいです。これを説明するとちょっと朝までかかりますので、ここは省略いたします。ページの左側には、それぞれの装備品の単価も入っております。また後ほど、下のページでご説明いた

します。概算要求の中に国内総生産GDPと防衛費との比率。これが私書いたんですけども、実は日本のGDP 550兆円に対して防衛費は1パーセント以下でございます。これは何を意味するのかといいますと、昭和51年に当時の三木内閣が閣議決定された防衛費はGDPの1パーセント以下にしろという閣議決定されたんですけども、実はこれ10年後にこの閣議決定は無効とする閣議決定も出たんですが、実体のない数字とするも一昨年の資料におきましてはNATOの加盟国は概ねGDPの2パーセントの防衛費が主流でございます。また、アメリカは3パーセント。中国は2パーセント。やはり、軍事力を多く持つロシアはGDPの4パーセントという割合で防衛費を計上している状況でございます。こういうふうに見ますと、日本の防衛費というのはGDPに対して非常に少ない割合での予算を執行しているという状況でございます。では、そのページの下。概算要求の新聞のほうにも載っているんですけども、主な装備品の単価、こちらのほうをちょっと掲載いたしました。最新の戦車と言いつても、約9年前に初納入された10式戦車でございますけれども、やはり一両の値段は高いです。15億円と非常に高価な装備品でございます。また、航空自衛隊につきましてはF35、こちらがやはり当面5年間の一番の導入する予定の装備品でございます。言い方は大変申し訳ないんですが、このように並べるとF35はそれ程高くない装備だというふうに見えるんですが、やはりこの数字の数え方から見ますと、あと導入する機数これを考えますと、100機以上この5年間で導入する予定でございますので、非常に高い金額、皆様の税金を使わせていただいているという状況でございます。次のページをご覧ください。こちらにつきましては、人的基盤の強化というところで、わたくし白河地域事務所が主な任務としてやっております自衛官の募集・採用についてでございます。皆様の事業所におきましても、少子高齢化による人手不足、これはどこも避けられない喫緊の課題でございます。かつ、自衛隊といたしましては優秀な人材を確保するために、非任期制隊員の採用拡大、または大卒者を含む採用層の拡大でございます。実際に具体的な政策といたしましては、昨年10月から今まで18歳から27歳未満までの方を募集対象としていたのですが、6歳ほど年齢を上げまして入隊の胃口を広げました。現在は18歳から33歳未満まで自衛隊に入隊していただける環境を作っております。また、男性のみならず女性の募集も積極的に行っております。ちなみに、弊所における女性自衛官入隊希望者は現時点で、高校生、一般の方を含めまして5名以上手を挙げていただいております。このまま推移しますと、3月下旬には女性自衛官が白河地域から5~6名誕生する予定でございます。また、女性自衛官の制限職務の廃止。これを積極的に進めております。今まで戦車乗りは男というのが相場で

ございました。しかしながら、女性でもできる任務というのは当然ございますので、戦車の中に乗って訓練をすることも可能です。また、既に進んでおります大きな船の艦長。あるいは、戦闘機のパイロット、こちらも既に女性が付いている状況でございます。また、これ一番下ですけども私含めて、現時点で来年の1月以降。一年間、定年延長が予定されております。と言いつても、ほとんどの隊員が55歳前後で定年退官を迎え、先程申しあげたとおり第二の人生として新たな企業様への再就職、こちらのほうを積極的に進めております。また下でございます、自衛官募集・採用のご案内でございますけれども、今お手元でございます封筒の中にピンクと黄色の自衛官採用案内、こちらのほうを入れさせていただきました。現在、防衛省自衛隊では新たな次世代の戦闘員を募集中でございます。ちなみに、国家公務員でまだ募集をやっているところは自衛隊以外ございません。ということは、やっぱり足りないという状況が今発生しております。先程申し上げたとおり、高校3年生から満32歳までの日本国籍を要する男性、及び女性。こちらにつきましては募集しておりますし、また一般社会人の方におかれましても求職中であつたり、あるいは転職を検討されている方も、もし手を挙げていただけるのなら、是非自衛隊に志願こちらのほうをお願いしたいと思い、今回資料を入れさせていただきました。もし、近い方でこういった方がいらっしゃいましたら、名刺も付けております。私のところまでご連絡いただくと、すぐに担当の者を向かわせますので、是非よろしく願いいたします。この一番下にあるとおり、自衛官は概ね3月下旬に入隊するのが相場なんですけども、3月の中旬まで試験をやる予定でございます。ここまで頑張つて新たな戦闘力を確保していかないと、35年前に入隊した隊員が今年度退職するのが通例なんですけども、その時に採った人数を補えない状況が今発生しております。自然減に伴う補充が追いついていない実情でございますので、もし将来自衛隊で頑張りたいという方がいらっしゃいましたら、是非お声がけいただけると幸いです。よろしく願いいたします。私からは以上で終わりたいと思いますけれども、何か質問等ありましたらお受けしたいと思います。よろしく願いいたします。

○質問タイム

Q：今ニュースでやっているGSOMIAは継続しなかったら、なんだかんだという話ですけど、自衛隊としては関係ないと思っているんですか。

A：申し訳ございません。今の質問はGSOMIAに関してまもなく切れる。これは今月の23日で、協定の有効期限を迎えます。今後の更新はないという報道上の話でございますけれども、申し訳ありません。政

治的な要素が含まれますので私からちょっと。思っていることは沢山あるんですけども、こういった場で申しあげることが控えたいと思います。ただ、韓国と情報共有することによりその協定そのものを考えますと、北朝鮮のミサイル発射、あるいは北朝鮮の動向、こういったものを両方向から韓国あるいは日本、この両方向から北朝鮮の動向を見ることによってより精度の高い情報を獲得し、例えば韓国から片側からしか見えなかったもの。あるいは日本はその反対側しか見えなかったもの。それをくっつけると一つの情報になるという話もございますので、この協定自体は非常に北朝鮮という目線で考えますと有効な協定ではないかと考えております。

Q : これは一般的な知識みたいなもので産経新聞で見ました。2~3日前に量子暗号という、絶対に読めない暗号という意味で、今ものすごいコンピューターができちゃって何でもこう瞬時に解読されちゃうという時代の中で量子暗号は絶対解読されない。そういうことに対して今、各国が何千億とかそういうお金をかけて研究していると。こういう一般的な知識ですけどね。そんなところで、量子暗号みたいなことで知ってるようなこと、一般的な知識でなんか教えていただければと思うんですが。

A : 自衛隊の軍事における通信というのは、非常に指揮の命脈といわれておまして、通信なくして指揮官の思いを末端まで伝えることができない。これは非常に重要な手段だと、これは昔からずっと言われております。今ありました量子力学に関する暗号については私もちょっと勉強不足で申し訳ないんですけども、一番確実な情報伝達の方法。実は皆さんもご承知なんですけども何かご存じでしょうか。実はデジタルではないんです。手紙なんです。手紙を伝えたい相手に渡す。これが一番確実な情報伝達の方法でございます。ただ、これがどうしても距離が離れてしまうとデジタルに依存しなければならぬということで暗号が発達した歴史がございます。ただ、一番有効な情報伝達の方法は手紙でございます。

Q : 配布の資料の中で陸上自衛隊の基幹部隊見直しのところで、師団、旅団とあるんですけど、その違いはどのようなものでしょうか。

A : すみません、そこ説明抜けておりました。師団、旅団につきましては、簡単に言いますと師団長、旅団長、ここにも階級の違いがあるんですけども、師団が上です。旅団がその下です。規模としては、師団が五千であれば、旅団が大体三千人規模ですね。これぐらいの部隊の尺度をお持ちになれば、そ

れ程ずれるはないかと思えます。また、その部隊の編成で一番のキーとなるのは歩兵という言い方があるんですけども、普通科部隊。これの規模によって、師団、旅団の大きさが決まってきます。それ以外にいろいろ付随する部隊というのはあるんですけど、基本的な考え方といたしましては師団には普通科連隊が三個で、旅団には普通科連隊が二個というような形で、その分人数は当然旅団のほうが少ないという考え方でございます。部隊を今の時代に合わせてその戦い方にしていくというのが今のスタンスでございます。

Q : 1任期で2年ということなんですけど、その任期まで全うしないで辞めてしまう率は何パーセントくらいあるのか。それと、昔はJ Cでお世話になって郡山の駐屯地で宿泊で歩行訓練や規律訓練などいろいろと一泊二日でやったことあるんですけど、今も民間人を学校等に入れて体験入隊みたいなことはやっているのですか。

A : まず、一点目の任期隊員の途中のリタイヤ。これについては、特段制限を付けておりません。しかしながら、任期を満了するという前提のもと、その隊員は次の就職を支援します。任期途中で辞める隊員は、次の就職の面倒はみません。ここが一番のポイントです。また、任期満了しますと、満了金というのが1任期で50万、2任期で120万程得られます。これも任期途中で辞めてしまうと、特別退職金はゼロでございます。二つ目の郡山駐屯地などにおける企業様の体験入隊ですね。こういったものにつきましては、継続して行っております。また、今いろいろな企業様でも新入社員研修。こちらで自衛隊を活用されてるところはございますので、あまり大きな規模は体験できませんけども、5名10名ぐらいの規模であればある程度前もって言っていただくことで対応は可能かと思えますので、是非お声かけいただければと思います。以上でございます。

Q : テレビでよく見る髭の隊長、佐藤正久さんは位でいうとどこまでいったのですか。

A : あの方は京都の福知山で連隊長を終えたのちに退職されましたので、一等陸佐でございますから、私は一等陸尉でございます。ここの肩章に棒が一本入ってますけど、この棒二本が一等陸佐でございますので、私よりだいぶ上ということですね。すみません。時間も迫って参りましたので、以上で終わりたいと思います。ご清聴、ありがとうございました。